

## 功績者表彰式のお知らせ

植物防疫の発展に寄与された功績者の表彰式及び祝賀会について、従来は会場開催で行ってききましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等により、一昨年、昨年と表彰式のみをオンラインによるライブ配信で行いました。

本年度第38回について種々の要因を考慮に入れ検討してまいりましたが、残念ながら今回も表彰式のみを昨年と同様の形式で、以下のとおり開催いたします。お時間の許す方は是非ご覧になり、祝福を賜りたくご案内申し上げます。

開催日時：令和5年9月20日（水） 16:15～16:45

開催形式：オンラインによるライブ配信（シンポジウムと同じURL）

### 第38回功労賞受賞者（3名：五十音順）

#### 池田 弘 氏（いけだ ひろし）

- 職歴 福岡県農業改良普及所、同県農業総合試験場、同県植物防疫協会等
- 業績 ○育苗箱栽培において特異的に発生したイネ馬鹿苗病、ごま葉枯病など病害の多発生要因を解明し、耕種的防除や有効な薬剤の選定等防除法の確立に貢献された。
- 果菜類灰色かび病、ウリ類つる枯病などの薬剤感受性検定を実施し、耐性菌の確認、発生実態の調査を行い、効果的な薬剤防除体系を確立された。
- 植物防協会で現地展示圃を設置・運営し、病虫害防除基準の策定に尽力されるとともに、農業大学校で農業後継者の育成にも尽力された。

#### 下畑 次夫 氏（しもはた つぎお）

- 職歴 岐阜県農業試験場、同県農業改良普及センター、同県病虫害防除所等
- 業績 ○イネミズゾウムシの越冬状況や発育零点、食草条件などを調査し、同虫の生態を解明するとともに、効果的な防除方法の確立に尽力された。
- 県内各地にフェロモントラップを設置し、コナガなど長距離移動性害虫の発消長を調査し、トラップの形状や効率的な設置法の研究に貢献された。
- シダクロスズメバチの飼育を行い、鱗翅目幼虫への攻撃性から野菜類害虫への天敵利用の可能性を考察された。

#### 三浦 猛夫 氏（みうら たけお）

- 職歴 宮崎県総合農業試験場 同県病虫害防除所、同県庁営農指導課等
- 業績 ○ピーマンに発生したタバコモザイクウイルストウガラシ系の発生生態を解明し、弱毒ウイルス利用によるピーマンの生産安定に寄与された。
- 施設野菜に発生する灰色かび病の薬剤耐性菌の発生生態を調査し、薬剤ローテーションによる防除体系を確立された。
- 県内のウリ類野菜に発生するウイルス病の発生生態を解明し、特にキュウリの安定生産に貢献された。